

各委員からの質問・意見について（ニーズ調査を除く）

（主な質問）

- 1 認定こども園制度について、保育現場で就労している者にとって、多少の混乱が起こると考えられるため、利用者へのニーズ調査と同時に、現在働く人たちへの対応や聞き取りが必要だと思われるが、予定はあるのか。
- 2 資格については、今現在は幼稚園教諭・保育士の両資格保有者で対応とのことだが、今後、新しい資格として「保育教諭」が認定されていくのか。
- 3 認定こども園が拡充されることで、既存の幼稚園・保育園の運営・経営への影響については、検討の視野に入っているのか。
- 4 地域型保育給付の4事業について、どの事業を利用しても、同じサービスの利用であれば負担額は同じなのか。
- 5 保育ママが増加している一方で小規模保育所の構想もあるが、札幌市では、保育ママと小規模保育の体制がどのような方向で進む予定なのか。
- 6 居宅訪問型保育について、実施予定はあるのか。

（主な意見）

- 7 量の検討と合わせて質の検討（子どもの育ち、発達援助を保障できる環境の整備）について、子どもの立場から考える場と機会を持っていただきたい。
- 8 有資格保育士の雇用が本当に困難になっています。家庭にいる保育士（潜在的保育士）の雇用は短時間パートが主なので雇用は限られる。保育の質を維持するためにも処遇改善を含め、フルタイム稼働保育士雇用対策を進めたい。
- 9 全体的に子どもを預ける、集団保育する制度の比重が大きくなってしまっているのは然りだと思うが、外へ出ることのできない親子や子育てしにくさを表現できずに家庭の中で悩んだり苦しんでいる親子に、どのように寄り添い、支援できるかについても議論していく必要がある。